講習会のご案内 2023年10月～2024年9月

講習会は予約制となります。お申し込みフォーム、またはFAXでご予約ください。
お申し込みフォーム、講習会ホームページはQRコードからご確認いただけます。
講師略歴は講習会ホームページ内にございます。

講習会場
〒111-0034東京都台東区雷門1-5-1藍熊染料ビル6F 染料研修室
TEL：03-3841-5760　FAX：03-3841-6549

10月

4日(水) or 5日(木) 草木染・型染入門「草木図譜」～小鮒草～ ご好評につき5日(木)日程追加

講師 山崎 樹彦　時間 10:00～16:00(昼休憩1時間含む)　費用 7,700円(材料費込 税込)

このシリーズでは、各月ごとに指定された染料植物の図案を、その染料植物で染めることを基本としています。草木染の基礎と型染の基礎とを同時に学びましょう。型糊は使わず、型彫りをした後に摺込刷毛を用いて藍棒・墨・ラック液・黄金花液などを使って染色を行います。型紙はA4サイズとなっており、エコバッグ・巾着・ランチョンマット・コースター・テーブルセンターの中から1つを選んで染色して頂きます。

	図案	地色の使用染料
2023年 10月	小鮒草	小鮒草
11月	五倍子、ヌルデ	五倍子
12月	白樺	白樺樹皮
2024年 1月	桜散らし、桜	桜の小枝
2月	キブシの花、キブシの実	キブシの実
3月	枇杷の実	枇杷の葉、小枝
4月	リンゴ	リンゴの小枝
5月	日本茜	日本茜
6月	アカソ	アカソ
7月	クルミ	クルミの実
8月	マリーゴールド	マリーゴールドの花
9月	トチノキ	トチノキの実

11日(水) or 18日(水) 「草木染めの基礎をシッカリ学ぶ」P-1＜絹の染色法＞

講師 上野 八重子　時間 10:00～16:00(昼休憩1時間含む)　費用 7,700円(材料費込 税込)

草や木から戴く鮮明な色を得るには、単に植物を煮出して染めるだけでは不十分です。このシリーズでは、草木の成分・素材の性質、それぞれに適した染色法について、「それはなぜなのか」を含め、理論的に学びます。実習は全工程1人で行いますので、順序立った染色法が身につきます。初めての方でも楽しく染められるよう、詳しいオリジナルテキストをお渡ししており、自立を目指される方や鮮明な色が出せずにお悩みの方にお勧めです。

P-1では、身近にある草で絹を染める染色法を学びます。素材の精練から始め抽出方法、媒染、染色と順序立てて「絹と草染料（フラボノール類）」の基本操作を学んでいきます。実習の中で用語、手順等を分かりやすく説明しますので「草木染めは初めて」という方でもお楽しみ頂けます。

23日(月) ウールの藍染基本を学び、濃淡を表現する

講師 若井 麗華　時間 10:00～16:00(昼休憩1時間含む)　費用 7,700円(材料費込 税込)

藍色の濃淡を染め分ける方法を、原毛と毛糸を使って学びます。他の繊維と違い、ウールの藍染めの際は、染液の温度管理や色止めに注意が必要です。そうした細かい注意点も体験しながら、藍色を各自の作品に取り込めるよう基本的なウールの藍染めを学びます。藍染めには大和藍を用います。2024/2/19と5/13にも同内容を開催致します。

11月

1日(水) 草木染・型染入門「草木図譜」～五倍子・ヌルデ～

詳細は10月の回（※10/4開催）を表をご参照ください。

8日(水) 日本の伝統模様とデザイン実践（初中級）

講師 伊川 絵理　時間 10:00～16:00(昼休憩1時間含む)　費用 7,700円(材料費込 税込)

江戸時代の染織図案をお手本に、自ら図案をデザインすることを学びます。初級～中級編では基礎的な色彩の知識と構図作りのコツについて講義を受けた後、用意された型紙を組み合わせて摺込友禅による作品制作を行います。摺込友禅がはじめての方も初歩から手順を学べます。（※ご自分で型彫りして頂くことも可能です。）なお、こちらの日程に加え、2024/4/17にも同内容を開催致します。こちらの講習会の上級編を12/13、2024/5/15に開催しますので、そちらも併せてご検討くださいませ。

16日(木) or 22日(水) 「草木染めの基礎をシッカリ学ぶ」P-2＜毛の染色法＞

このシリーズの詳細はP-1（※10/11開催）をご参照ください。

P-2では、毛（ウール）の染色法を学びます。草とは違う樹木染料（タンニン類）を使い、それに適した抽出方法を学ぶことに加え、抽出法が異なる際の色の違いも見てみましょう。素材は毛糸または毛ストールを使い、毛を染める時の注意点や絹や綿との染色法の違いを体験して頂きます。

20日(月) ウールを染める〈単色染め & 多色染め〉

講師 若井 麗華　時間 10:00～16:00(昼休憩1時間含む)　費用 7,700円(材料費込 税込)

ダイヤモンドファースト染料は、赤青黄の組み合わせで色を作る事ができ、自宅でも扱いやすい染料です。今回は、ウールの染色がテーマです。まずは基本的な方法である、3色の染料を1つに混ぜた浸染による「単色染め」を学び、その後に発展的な、染料を注ぐエリアを限定して部分染めする「多色染め」を学びます。同じ分量の染料を使っても、染色方法の違いで多くの色を作り出せることを学ぶ内容です。2024/3/18と4/16にも同内容を開催致します。

29日(水) or 6日(水) 「初めての草木染め」第1回 ＜絹ストールを染める＞ 半日コース

講師 上野 八重子　時間 【午前コース】10:00～12:45 【午後コース】13:15～16:00　費用 3,850円(材料費込 税込)

仕事や子育てでお忙しいお客様からも「草木染めをしてみたい」というお声が多かったため、上野先生の草木染めの講習会に、半日コースを開設する事となりました。短時間とは言え大事なポイントをしっかりと組み込んでおります。染色工程が理解できるよう作業は各自で行いますので、草木染めの楽しさを十分にお楽しみ頂くことができる内容です。第1回目は、草類を使った染色で、絹のストールを染めてみます。まずは染液を作るところから始めます。使う媒染剤によって染まる色が黄色・黄土色・灰色等に染まります。初めての草木染めを楽しんでみませんか？

12月

7日(木) 草木染・型染入門「草木図譜」～白樺～

詳細は10月の回（※10/4開催）を表をご参照ください。

13日(水) 日本の伝統模様とデザイン実践（上級）

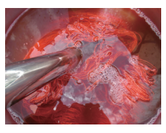
講師 伊川 絵理　時間 10:00～16:00(昼休憩1時間含む)　費用 7,700円(材料費込 税込)

上級編では染織図案についてより専門的な講義を行い、モチーフをどう描写するかについてさらに詳しく学びます。その後、ゼロから自分自身で図案を作り、型彫りし、摺り込んで作品に仕上げます。型彫り・摺込友禅の経験があり、実践的に作品制作を行いたい方向けの内容です。なお、こちらの日程に加え、2024/5/15にも同内容を開催致します。こちらの講習会の初中級編は11/8、2024/4/17に開催されますので、そちらも併せてご検討くださいませ。

14日(木) or 21日(木) 「草木染めの基礎をシッカリ学ぶ」P-3＜綿麻の染色法・赤色系染料-1＞

このシリーズの詳細はP-1（※10/11開催）をご参照ください。

P-3では、綿と麻の染色法及び、赤色系染料の染色法を学びます。植物繊維は絹や毛などの動物繊維と違い、媒染と染色だけでは染まりにくいため、使用目的に合わせた下地処理方法を学びましょう。また、「茜（アントラキノン誘導体）＋綿」ならではの染色法により、赤く染めるコツをお伝えします。更に講義内では、通常の染色法では黄味が抜けない日本茜について、下処理から染色まで詳しく学びます。



15日(金) 型染でクリスマスのタペストリーを作ろう

講師 千秋 洋子　時間 10:00～16:00(昼休憩1時間含む)　費用 7,700円(材料費込 税込)

今年のクリスマスはご自身で作ったタペストリーを飾ってみませんか？
この講習会では型の彫り方やデザインの仕方を初心者でも楽しく学ぶ事が出来ます。
また、クリスマスの飾りに映える「金銀彩」の使い方も覚える講座です。
楽しみながら世界で1つだけのタペストリーを作ってみましょう。

20日(水) 「レマゾール」タイプ染料の基礎

講師 西 大三　時間 10:00～16:00(昼休憩1時間含む)　費用 7,700円(材料費込 税込)

鮮やかな色合いが特徴的な、反応性染料の「レマゾール」タイプ染料を使って、蒸しが不要で手軽な染色を学びましょう。主にステンシル技法で制作します。2種類の北欧調デザインの型紙（A4サイズ）を用いて制作します。（※こちらの型紙は講習会終了後お持ち帰り頂きます。）なお、こちらの日程に加え、2024/2/28にも同内容を開催致します。

2024 1月

10日(水) or 17日(水) 「草木染めの基礎をシッカリ学ぶ」P-4＜赤色系染料 - 2＞

このシリーズの詳細はP-1（※10/11開催）をご参照ください。
P-4では、P-3に引き続き、赤色系染料の染色法を扱います。この講習会ではコチニール・ラック（アントラキノン誘導体）の染色法を学びます。コチニールとラックは、草木ではなく虫系染料ですが、染色以外でも使われていた用途が広い染料です。コチニールの性質を知ることで少量でも濃色に染まる方法を学びましょう。また、媒染によってエンジ、赤、紫、灰色と多様に変わる色もお楽しみ頂けます。

11日(木) 草木染・型染入門「草木図譜」～桜散らし・桜～

詳細は10月の回（※10/4開催）を表をご参照ください。

24日(水) or 31日(水) 「初めての草木染め」第2回＜綿の巾着袋を染める＞ 半日コース

このシリーズの詳細はP-1（※11/29開催）をご参照ください。
第2回目は、綿生地の草木染めに挑戦してみましょう。綿は草木染めの場合、ウールや絹の染め方では染まらず、染める前に下地処理が必要となります。この講習会では濃染処理剤を使います。染料や媒染剤を定着させ、草木染めでも濃く染められることを学びます。

2月

7日(水) 草木染・型染入門「草木図譜」～キブシの花・キブシの実～

詳細は10月の回（※10/4開催）を表をご参照ください。

14日(水) or 21日(水) 「草木染めの基礎をシッカリ学ぶ」P-5 ＜紅花の染色法＞

このシリーズの詳細はP-1（※10/11開催）をご参照ください。
P-5では紅花を扱います。紅花（カルコン誘導体）は水温の低い真冬の作業となります。本来、冷たい水で重労働とも思える抽出作業がありますが、この講習会では簡単な作業でも色鮮やかに染まる染色法で「韓紅、紅絹色、一斤染め」を染めていきます。紅花ならではの美しい色をお楽しみください。

15日(木) 紅花染の実践

講師 川崎 壽子　時間 10:00～16:00(昼休憩1時間含む)　費用 7,700円(材料費込 税込)

紅花には、黄色色素と赤色色素が含まれており、その抽出方法も異なります。この講習会では、紅花を用いて黄色色素と赤色色素を抽出し、黄色・紅色・桃色など様々な色の染液を作って染色を行います。

19日(月) ウールの藍染めの基本を学び、濃淡を表現する

こちらの講習会は、10/23に初回を開催致します。そちらに詳細な説明がございますので、ご参照をお願い致します。

27日(火) 「草木染めのメカニズムを学ぼう」～紅花～ 座学

講師 原田ロクゴー　時間 14:00～15:30　費用 1,650円(材料費込 税込)

この講習会は、紅花・茜・紫根・藍という4種類のよく知られた植物染料について、その発色のメカニズムと色素の性質について深く掘り下げる内容になっています。
第1回目は、性質の全く異なる二つの色素を持つ紅花を取り上げます。紅花に由来する「韓紅花（からくれない）」「一斤染」「退紅」などは日本染織史上、欠くことのできない色です。紅花の黄色色素と赤色色素がこれらの色合いを作り出した背景には、「上級貴族の美意識」「政治経済事情」「染め人達の技量」などの複雑な要因があり、染織を学ぶ上では大変興味深い染料といえます。

28日(水) 「レマゾール」タイプ染料の基礎

こちらの講習会の情報は12/20の日程の欄に詳しく記載しておりますので、ご参照をお願い致します。

3月

1日(金) 型染で桜のタペストリーを作ろう

講師 千秋 洋子　時間 10:00～16:00(昼休憩1時間含む)　費用 7,700円(材料費込 税込)

この講習会では飾るだけでパッと心が明るくなる桜のタペストリーを制作します。
まずは型紙作りの基本から学びます。様々なパターンの桜の型紙を作ってみましょう。
その中で地染まり型、地白型についても体験出来ます。
初心者から経験者までそれぞれに楽しめる講習会となっています。

6日(水) or 22日(金) 「草木染めの基礎をシッカリ学ぶ」P-6＜藍を建てる＞

このシリーズの詳細はP-1（※10/11開催）をご参照ください。
P-6では、少量でも藍液を作れる方法を学びます。多量の仕込みが必要な醗酵建てとは違い、必要とする分量の藍液を失敗なく作ることができます。いわゆる「化学建て」という方法になりますが使用するのはすくも藍・インド藍という本藍になります。（講座ではインド藍使用）草木染めに藍染めが加わることで色の幅が広がります。

7日(木) 草木染・型染入門「草木図譜」～枇杷の実～

詳細は10月の回（※10/4開催）をご参照ください。

18日(月) ウールを染める〈単色染め & 多色染め〉

こちらの講習会は、11/20に初回を開催致します。そちらに詳細な説明がございますので、ご参照をお願い致します。

26日(火) or 27日(水) 「ろうけつ染」と「ぼかし染」の応用技術を学ぶ

講師 桂川 美帆　時間 10:00～16:00(昼休憩1時間含む)　費用 7,700円(材料費込 税込)

ニューパステロン染料を使用し、「ろうけつ染」のストールを作ります。また、刷毛による「ぼかし染」のテクニックを応用した、短い時間でも多色に染め上げることができる方法も学びます。ニューパステロン染料は薬品もお湯も不要な染料ですので、ご自宅でも簡単に習った内容を再現頂けます。両日とも同内容ですのでご都合の良い日程をお選びください。

4月

3日(水) 草木染・型染入門「草木図譜」～リンゴ～

詳細は10月の回（※10/4開催）をご参照ください。

10日(水) or 24日(水) 「草木染めの基礎をシッカリ学ぶ」P-7＜紫根の染色法＞

このシリーズの詳細はP-1（※10/11開催）をご参照ください。
P-7では、高貴な人々にもてはやされた紫の色「紫根」の染色法を学びます。軟紫根をアルコールで抽出し、アルミ成分の多い椿灰を使用し、濃紫と薄紫の2色を染めます。（時間の関係で硬紫根を湯で揉み出す方法は講義のみ）

11日(木) 紫根染の実践

講師 川崎 壽子　時間 10:00～16:00(昼休憩1時間含む)　費用 7,700円(材料費込 税込)

奈良時代から日本で使われていた染料、紫根から紫色の染料を抽出し、染色を行います。
今回は軟紫根を用いて染色をしてみましょう。

16日(火) ウールを染める〈単色染め & 多色染め〉

こちらの講習会は、11/20に初回を開催致します。そちらに詳細な説明がございますので、ご参照をお願い致します。

17日(水) 日本の伝統模様とデザイン実践（初中級）

こちらの講習会は、11/8に初回を開催致します。そちらに詳細な説明がございますので、ご参照をお願い致します。

23日(火) 「草木染めのメカニズムを学ぼう」～茜～ 座学

このシリーズの詳細は第1回（※2/27開催）をご参照ください。
第2回目は世界各地で使用されてきた赤い根っこ「茜」をとりあげます。茜は大別すると、インド茜・西洋茜・日本茜の3種類があります。各茜に数種類の赤色色素が含有されており、それぞれの色素について掘り下げます。藍熊染料『染色材料カタログ』掲載の「アリザリンレッドS 200%」は、西洋茜の色素成分を化学合成したもので、微量で濃色に染めることができます。合成染料の開発者達をも惹きつけた魅力的な天然色素である「茜の赤」について学んでみませんか。

5月

1日(水) or 22日(水) 「草木染めの基礎をシッカリ学ぶ」P-8＜柿渋とインド藍で型染め＞

このシリーズの詳細はP-1（※10/11開催）をご参照ください。
P-8では、柿渋とインド藍を使った型染を行います。型紙作り・紗張り・型染めは難しいと敬遠されがちですが、今回は初心者の方でも簡単に紗張り出来る方法で型紙を作ります。同じ型紙で「柿渋染め」「防染による草木染」「藍の抜染」など、様々な型染めが楽しめます。

8日(水) 草木染・型染入門「草木図譜」～日本茜～

詳細は10月の回（※10/4開催）をご参照ください。

13日(月) ウールの藍染めの基本を学び、濃淡を表現する

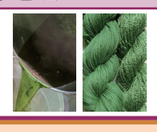
こちらの講習会は、10/23に初回を開催致します。そちらに詳細な説明がございますので、ご参照をお願い致します。

15日(水) 日本の伝統模様とデザイン実践（上級）

こちらの講習会は、12/13に初回を開催致します。そちらに詳細な説明がございますので、ご参照をお願い致します。

29日(水) 「草木染めの基礎をシッカリ学ぶ」 P-9 ＜緑染め染色法＞

このシリーズの詳細はP-1（※10/11開催）をご参照ください。
「緑の葉を染めても緑色に染まらない？」と疑問に思った事はありませんか。P-9では、緑色を出すための抽出方法、それに適した植物の見分け方を学びながら、絹と毛を染めていきます。また、抽出法によって色味が異なることも、体験しながら学んで頂きます。なお、こちらの日程に加え、6/26にも同内容を開催致します。



6月

5日(水) 草木染・型染入門「草木図譜」～アカソ～

詳細は10月の回（※10/4開催）をご参照ください。

12日(水) or 19日(水) 「初めての草木染め」第3回 ＜ウールストールを茜色に染める＞ 半日コース

このシリーズの詳細は第1回目（※11/29開催）をご参照ください。
第3回目は毛の染色法を学びます。キレイな茜色を染めるには、チョットしたポイントがあります。今までとは違う「煮出す前の準備」と「抽出方法」を学んで、鮮やかな赤を染めましょう。

22日(土) 「初めての草木染め」第4回 ＜藍でエコバッグを染める＞ 半日コース

このシリーズの詳細は第1回目（※11/29開催）をご参照ください。
第4回目は「一度は染めてみたい」と思う方が多い藍染めを行います。この半日の講習会では大和藍を使って藍染めをしてみます。大和藍は薬品や熱湯を使う必要がないので、様々な場所で手軽に染めることができ、応用範囲が広いでしょう。土曜日の開催なのでお仕事がある方におすすめです。なお、こちらの日程に加え、8/7にも同内容を開催致します。

25日(火) 「草木染めのメカニズムを学ぼう」～紫根～ 座学

このシリーズの詳細は第1回（※2/27開催）をご参照ください。
第3回目は古来「紫草」と呼ばれてきた紫色を染める根っこ「硬紫根」を取り上げます。染色温度によって灰色みになることや、酸性で赤み・アルカリ性で青みがかる癖のある染料ですが、こうした事情を把握して染色することで多彩な紫を出すことができる染料でもあります。現在では紫根の紫色色素を度数の高いアルコール類で抽出しますが、飛鳥時代・平安時代・江戸時代はいったいどのような抽出法や染色法をしていたのでしょう。染織の歴史や文化に関心がある方や、染色化学を学んでみたい方におすすめの講習会です。

26日(水) 「草木染めの基礎をシッカリ学ぶ」 P-9 ＜緑染め染色法＞

こちらの講習会の情報は5/29の日程の欄に詳しく記載しておりますので、ご参照をお願い致します。

7月

3日(水) 草木染・型染入門「草木図譜」～クルミ～

詳細は10月の回（※10/4開催）をご参照ください。

10日(水) or 17日(水) 「草木染めの基礎をシッカリ学ぶ」P-10＜インド更紗・版押し＞

このシリーズの詳細はP-1（※10/11開催）をご参照ください。
P-10のテーマは「インド更紗・版押し」です。インド更紗は糊に媒染剤を入れ、判押しで模様が染まる技法です。一枚の布に媒染別の色が出てきます。今回は本場で使われる材料でなくても身近にあるもので多色の「インド更紗」を楽しむことができますので、お好きな模様を染めて頂きたいと思います。

18日(木) ラックダイ染の実践

講師 川崎 壽子　時間 10:00～16:00(昼休憩1時間含む)　費用 7,700円(材料費込 税込)

ラックダイパウダーを使った染色の基本を学びます。ラックダイは古代から東南アジアやアフリカで使われた染料です。綺麗な臙脂色を染めてみましょう。

24日(水) or 31日(水) 「草木染めの基礎をシッカリ学ぶ」P-11＜藍の生葉染め・綿の染色法＞

このシリーズの詳細はP-1（※10/11開催）をご参照ください。P-11では、藍の生葉染めを行います。絹と異なり、藍の葉を揉み出した液に浸けるだけでは染まらない綿ですが、一手間加える事で綿・麻・毛糸まで生葉染めならではの美しいスカイブルーに染めることができます。この講習会では、綿の染色法だけでなく、講習内で余った葉を干し葉にする方法と保存・染色方法まで学びます。

8月

7日(水) 「初めての草木染め」第4回 ＜藍でエコバッグを染める＞ 半日コース

こちらの講習会の情報は6/22の日程の欄に詳しく記載しておりますので、ご参照をお願い致します。

8日(木) 草木染・型染入門「草木図譜」～マリーゴールド～

詳細は10月の回（※10/4開催）をご参照ください。

21日(水) 「草木染めの基礎をシッカリ学ぶ」P-12＜藍色＋草木染めで多色を＞

このシリーズの詳細はP-1（※10/11開催）をご参照ください。
P-12では、カラフルな毛ストール染めを行います。3原色を使い黒褐色の地に赤、青、黄とそれらを混色した色が浮かび上がります。一見派手に思えますが、草木染めの色はどなたにも馴染みやすくダーク系が多くなる冬の装いにはワンポイントの作品となるでしょう。上級者の方も楽しんで頂ける内容ですので、学んだ内容を生かして染め重ねを楽しみましょう。なお、こちらの日程に加え、9/4にも同内容を開催致します。

27日(火) 「草木染めのメカニズムを学ぼう」～藍～ 座学

このシリーズの詳細は第1回（※2/27開催）をご参照ください。シリーズ最終回となる第4回目は世界中で使用されている「藍」を取り上げます。世界各地で「藍」として使用されている植物は、植物分類学上の「科名」が異なることをご存じですか。私たちが「藍」と呼んでいるのは「含藍植物」として「藍を染めることができる成分になる前の物質」を持っている植物の集合なのです。そんな不思議な「藍」について、『藍の建染め』のメカニズムを学び、さらに生葉染めのメカニズムについても扱います。藍染めに関わっている方におすすめです。

29日(木) 藍の生葉でウールを染める

講師 若井 麗華　時間 10:00～16:00(昼休憩1時間含む)　費用 7,700円(材料費込 税込)

通常、ウールの染色は60℃以上の温度にて行いますが、藍の生葉染めは、藍の葉に含まれる酵素の働きにより、常温で染色をすることができます。藍の葉が収穫される夏の時期にしか体験できない講習会となっておりますので、鮮やかで涼しい藍の色を紡ぎやフェルトに取り入れたいという方は奮ってご参加ください。

9月

4日(水) 「草木染めの基礎をシッカリ学ぶ」P-12＜藍色＋草木染めで多色を＞

こちらの講習会の情報は8/21の日程の欄に詳しく記載しておりますので、ご参照をお願い致します。

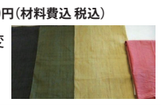
5日(木) 草木染・型染入門「草木図譜」～トチノキ～

詳細は10月の回（※10/4開催）をご参照ください。

19日(木) ミロバラン染の実践

講師 川崎 壽子　時間 10:00～16:00(昼休憩1時間含む)　費用 7,700円(材料費込 税込)

タンニンを豊富に含み、下地染めにも使われているミロバラン。実を砕くのは少し大変ですが、黄色や黄土色などを染めることができます。



掲載写真は作品の一例になります。

特別講習会

海外で流行中！ボタニカルプリントを体験しよう　2023年 10月13日(金)

時間 【午前の部】9:30～12:30 【午後の部】13:00～16:00
費用 13,000円(材料費込 税込)

ボタニカルプリントは別名エコプリントとも言われ、生の葉、花の色や形を直接布に移し取る新しい手法です。海外では既に草木染めをする人の間でブームになっています。新鮮な草花を使うので、季節によって違う花、また同じ葉でも色が変わってきます。この講習会ではシルクのスカーフを美しく染めてみます。草木染めの経験がない方でも楽しむことができるようにご指導致します。

講師 藤尾 真由美

東京生まれ、サンフランシスコ在住歴30年。アメリカにて草木染め・キノコ染め・ボタニカルプリントに出会い、現在テキスタイルアーティストとして活躍している。バークレーのACCIギャラリーなどの展覧会にて出展。作品はサンフランシスコデヤング美術館、シアトル美術館で販売されている。また、サンフランシスコ植物園、コロラド州テルライドキノコフェスティバルなどで講演、デモ、講師を勤める。

伊豆大島の椿花びら染め　2024年 3月13日(水)/14日(木)

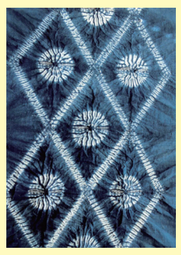
時間 【午前の部】9:30～12:30 【午後の部】13:30～16:30
費用 4,510円/回(材料費込 税込)

この講習会では、伊豆大島に自生する日本の固有種「ヤブツバキ」に触れながら、大自然に育まれた椿の花びらで染液を作り、シルクスカーフにその色合いを移す楽しさを体験して頂きます。絞りを入れることで世界に一つだけのスカーフを作ることもできます。滅多に体験することができない「椿花びら染め」をぜひお楽しみください。

講師 菊地かをり

2000年、東京都の離島伊豆大島へ移住。地域に溶け込むべく郷土芸能「あんこの手踊り」を習う。後に踊りの師を通して椿花びら染に出会い、伊豆大島椿染めの会に入会し、花びら染めを学ぶ。

有松絞りを学ぶ～巻き上げ絞りの実践～　2024年 4月4日(木)/5日(金)



時間 1日目 10:45～16:45 2日目 10:00～16:00
費用 9,900円/日(材料費込 税込)

1975年に国の伝統工芸品に指定され、近年では海外からの人気も大変高くなっている「有松絞り」を学んでみませんか？この講習会では、巻き上げ絞りでTシャツを染めますので、絞り染めをしたTシャツを講習会後はお使い頂くことができます。なお、2日間の開催となっておりますが、1日のみのご参加も2日間連続でのご参加も可能です。初心者の方も歓迎です！

講師 加藤 龍音

1992年より伝統工芸士の榊原あさ子氏に師事。2002年より愛知県犬山市「さくら工房」絞り染物講師となり現在に至る。2004年より有松鳴海絞り自主グループに参加し、有松鳴海絞りくくり部門（巻上げ絞り）伝統工芸士の藤小鈴氏に師事。また、2007年より有松鳴海絞りくくり部門（鹿の子絞り）伝統工芸士の板谷やよい氏に師事。

匠の技法に学ぶ～「糊纈染（こけちぞめ）」の解説～　2024年 4月25日(木)

時間 13:00～15:30　費用 1,650円(税込)

6歳から着物職人の道を歩んだ西耕三郎先生は、85年に及ぶ職人歴の中で「糊纈染」という独自の染色技法を生み出しました。糊に生まれるひび割れを利用したその巧みな技法から、先生の制作した着物には数多の受賞歴があります。この講習会ではそんな「糊纈染」についての解説を中心に、先生の職人としての歩みをお伺いします。先生の制作された作品を生でご覧頂く時間もございます。プロの職人の方に染色技法や作品作りについて直接お聞きできる、またとない機会です。

講師 西 耕三郎

1934年 東京生まれ 荻田繁蔵に染を習う
1982年 東京藝術大学 形成デザイン科非常勤講師
展覧会、東京セントラル絵画館他、個展多数